

第 1 回園関係者評価委員会について

10月3日（金）に第1回園関係者評価委員会を行いました。保育を参観していただき、令和7年度前期（9月まで）の園の活動や教育・保育に対するご意見、ご助言等をいただきました。各委員の先生方のご意見、ご助言等は下記の通りです。

<大館市立釈迦内小学校 校長 橘 範広様より>

- ・先日、「おまつりごっこ」の準備をしている青組さんの保育を参観した。あるお店の子どもたちが準備を進めている途中でちょっと飽きてしまい、遊び出してしまう場面があった。先生は、その子たちに「お店の準備をしなさい。」と言うのではなく、準備が進んでいる他の店の様子や工夫しているところをクラス全体に伝えることで、お店の準備に飽きていた子どもたちが自ら「よし！ぼくたちも頑張るぞ！」という気持ちになるような保育をしていた。（実際もそのようになった。）やらされるのではなく、自ら目的をもってまたお店の準備に向かう姿こそ自立（自律）の一步であり、小学校でも目指す姿であると感じた。
- ・これまでも、釈迦内小学区は幼保小連携はずっと行っていたが、これからも情報共有しながら「架け橋期」を意識して交流を続けていきたい。

<株式会社 一途 代表取締役 木津谷 千春様より>

- ・運動会や今日の保育を見せてもらい、子どもたちの元気な姿はとてもよいと感じる。こども園が行かなければいけない場所ではなく、行きたい場所になるような園であってほしい。そして保護者の方には子育てを楽しんでほしいと思う。

<大館市立北陽中学校 教頭 木村 大様より>

- ・北陽中祭（合唱コンクール）のため欠席されました。

いただいたご意見、ご助言をしっかりと受け止め、今後も地域になくはない園づくりをし、ここで生活する子ども達一人一人の成長をしっかりと支えていけるような園になっていきたいと思っております。

年度末には、保護者の方にも園の評価をしていただきたいと思いますのでご協力をお願いします。

<保護者の方に年度末に評価していただく項目>

1. 保育について
2. 園行事について
3. 家庭との連携について
4. 安全等への配慮について
5. 架け橋プログラム（幼保小連携）について
6. 地域との連携について を予定しております。（変更になる場合もあります。）